

鳩山連立政権の予算案

仕事と暮らし立て直し 未来社会への道筋示す

社民党は

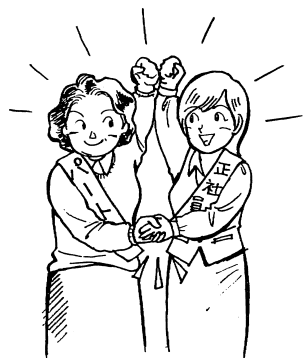
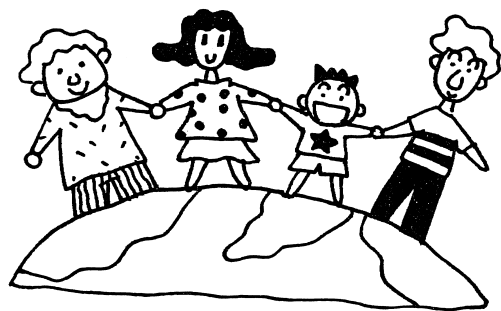
庶民負担増きつちりストップ
子育て応援にしつかり目配り

社民党は、鳩山連立内閣が初めて本格的に作った予算案の早期成立を訴えています。

この予算案には、「子ども手当」や高校無償化、コメ農家の所得補償など、国民の強く期待する政策が多く盛り込まれています。

ほかにも、非正規労働者が雇用保険に入れるようにするとともに、今まで雇用保険に入れなかったり失業給付が切れた人を対象に、職業訓練期間中の生活を支援する制度を広げます。前の自公政権が導入して国民の大変な批判を浴びた「後期高齢者医療制度」や「障害者自立支援法」を公約通り廃止するまでの間、負担を軽くする措置も行ないます。

社民党は、子ども手当などの財源として、その恩恵を受けない23～69歳の「成年扶養控除」を廃止する案に待ったをかけました。また、保育所待機児童解消策として「空き教室」活用などを提案し、政府の政策としました。



社民党